



3人兄弟 競争心なく将来が心配

小学5年を頭にしたらわが家の3人兄弟について相談します。競争心がなく負けず嫌いといった感覚がありません。仲が良いのはいいのですが、将来が心配です。長男と次男の通う学校は児童数も多くなく、穏やかな環境です。長男は習っているサッカーの試合で他校の子とプレーした際、ミスをして文句を言われて泣いてしまいました。悪口を言われるのに慣れておらず、へこんでしまっただけで言い返せないようです。こういう時にどう声を掛けるといいでしょうか。中学や高校は小学校より人数が多い上、いろいろな性格の子がいると思われ、やっていけないか心配です。

先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー

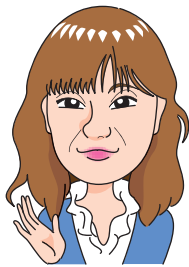


仙台市宮城野区
40代・会社員

からの質問

●回答してくれた人 畠山 厚子さん

はたけやま・あつこ 仙台市出身。仙台市住吉台小、鶴谷東小学校を歴任。2019年4月から宮城県NIE委員。会コーディネーターを務める。



保護者が適切に接していて、3人兄弟が仲良く助け合っているのですね。うらやましく感じる保護者も多いと思います。

小規模校の小学校できめ細かく指導されて楽しい生活を送る中、中学や高校での生活を心配されているようです。ほとんどの中学校は近隣の小学校から児童が集まり、新たな集団を築きます。学級数が増え教科担任制になり、家庭的だった学校生活が一変することになります。

中学生は学習内容が難しくなり、計画的な取り組みが求められます。興味関心が同じ生徒同士での部活動や文化祭、スポーツ大会など自主的、自治的な活動が増え、人間関係も広がり、心身共に充実する時期です。

距離保ち自立心育んで

学校は一つの小さな社会。さまざまな仲間や教師と出会い、多くの経験を通して自己有用感や責任感、連帯感などを味わい、時には悩みながら自立した人間へと成長していきます。

その過程でお子さんの優しさは、より良い人間関係を育む大きな力になります。悪口を言われてへこんでしまったなら「されて嫌なことは友達にはしないこと」と、された側の気持ちを思いやって行動できるよう、アドバイスしてあげてください。

過保護や過干渉にならない程よい距離で、お子さんの良さや可能性を信じ、何事にも挑戦するよう、励ましましょう。どんな困難も乗り越えていくたくましさが身に付くはずですよ。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。元教員や学習塾経営者、小児科医、精神科医らが、紙面上で悩みにお答えします。メールまたは郵送で相談をお寄せください。

▷記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▷宛先 〒980-8660 河北新報社子ども新聞係。メールアドレス kyopro@po.kahoku.co.jp